

2 有害大気汚染物質モニタリング

愛知県、名古屋市、豊橋市及び豊田市は、大気汚染防止法に基づき、有害大気汚染物質による大気汚染の状況を把握するための調査を実施している。

平成 13 年度における調査結果の概要は次のとおりである。

(1) 調査方法

ア 調査地点

県内の有害大気汚染物質による大気汚染の状況を適切に把握するため、表 4 - 2 - 1 及び図 4 - 2 - 1 に示す計 18 地点で調査を実施した。

イ 調査対象物質

調査対象物質は、有害大気汚染物質のうち健康リスクがある程度高いとされている優先取組物質 21 物質の中から、環境庁の「有害大気汚染物質モニタリング指針」に基づき、「有害大気汚染物質測定方法マニュアル」（平成 9 年 2 月、同 8 月、10 年 3 月、11 年 3 月）で分析方法が示されている次の 19 物質とした。

(ア) 環境基準の定められている物質(4 物質)

.....ベンゼン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン

(イ) その他の物質(15 物質)

- ・揮発性有機化合物(5 物質).....アクリロニトリル、塩化ビニルモノマー、クロロホルム、1,2-ジクロロエタン、1,3-ブタジエン
- ・アルデヒド類(2 物質).....アセトアルデヒド、ホルムアルデヒド
- ・重金属類(6 物質).....水銀及びその化合物、ニッケル化合物、ヒ素及びその化合物、ベリリウム及びその化合物、マンガン及びその化合物、クロム及びその化合物
- ・多環芳香族炭化水素(1 物質)...ベンゾ[a]ピレン
- ・その他(1 物質).....酸化エチレン

表4 - 2 - 1 調査地点及び調査対象物質

地域分類	調査機関	調 査 地 点	所 在 地	調 査 対 象 物 質					
				環 境 基 準の定め られている物質	そ の 他 の 物 質				
					揮 発 性 有 機 化 合 物	ア ル デ ヒ ド 類	重 金 属 類	多 環 芳 香 族 炭 化 水 素	その他
一般環境	愛知県	豊川市役所	豊川市金屋西町3-11	○	○	○	○	○	○
		津島市埋田町	津島市埋田町2-123-1	○	○				
		小牧高校	小牧市小牧一丁目321	○	○	○	○	○	○
		阿久比中学校	阿久比町大字卯坂字半田ヶ峰1	○	○				
		安城農林高校	安城市池浦町茶筌木1	○	○	○	○	○	○
	名古屋市	富田支所	名古屋市中川区春田三丁目215	○	○	○	○	○	○
	豊橋市	豊橋市役所	豊橋市今橋町1	○	○	○	○	○	○
		大崎	〃 大崎町字柿ノ木16	○	○	○	○	○	○
	豊田市	豊田市北部	豊田市加納町西股75	○	○	○	○	○	○
衣丘小学校		〃 三軒町6-20-1	○	○	○	○	○	○	
豊田市南部給食センター		〃 竹元町南細畔47	○	○	○	○	○	○	
工業地帯	愛知県	東海市名和町	東海市名和町南之山10-4	○	○	○	○	○	○
		半田市青年の家	半田市東洋町1-3-6	○	○			○	○
	名古屋市	港陽	名古屋市港区港陽一丁目1-65	○	○	○	○	○	○
		白水小学校	〃 南区松下町2-1	○	○	○	○	○	○
沿道	愛知県	岡崎市大平町	岡崎市大平町字二の沢67	○	○	○		○	
	名古屋市	上下水道局北営業所	名古屋市北区田幡二丁目4-5	○	○	○		○	○
	豊田市	豊田市福祉センター	豊田市拳母町2-40-2	○	○	○	○	○	○

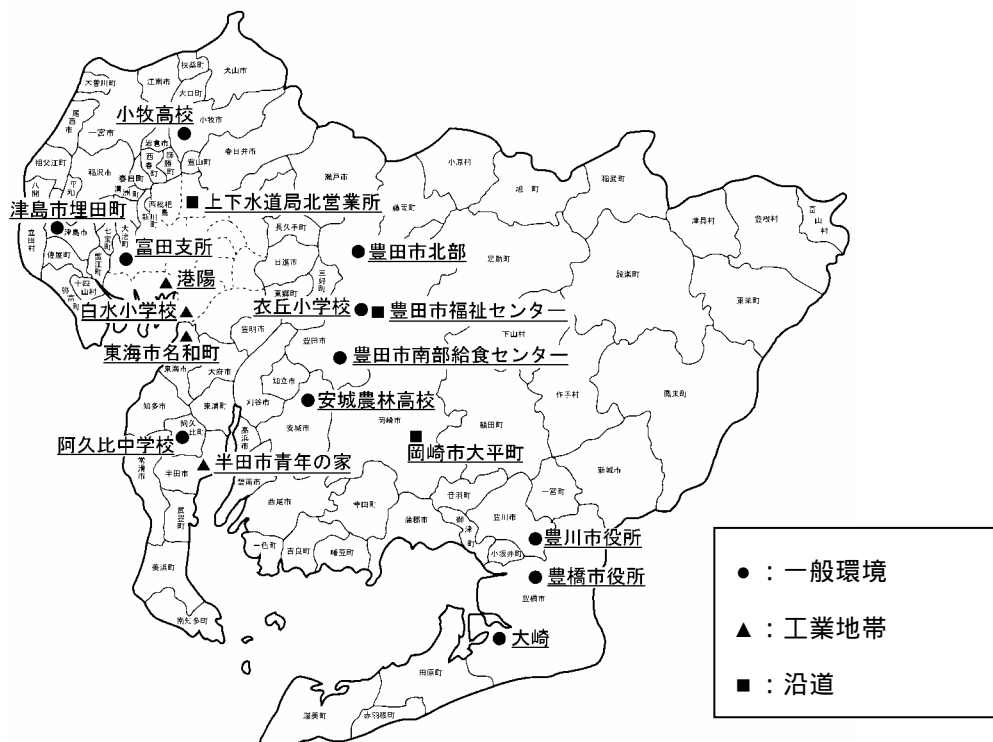


図4 - 2 - 1 調査地点位置図

ウ 調査期間

平成 13 年 4 月から平成 14 年 3 月まで

エ 試料採取方法及び分析方法

試料採取方法及び分析方法是、環境庁の「有害大気汚染物質測定方法マニュアル」（平成 9 年 2 月、同 8 月、10 年 3 月、11 年 3 月）に基づき、表 4 - 2 - 2 のとおりとした。

表 4 - 2 - 2 試料採取方法及び分析方法

区 分	調 査 対 象 物 質	試 料 採 取 方 法 及 び 分 析 方 法
優 先 取 組 物 質	指定物質 ベンゼン トリクロロエチレン テトラクロロエチレン	容器採取→低温濃縮→GC-MS法 又は 固体捕集→加熱脱着→GC-MS法
	アクリロニトリル 塩化ビニルモノマー クロロホルム 1,2-ジクロロエタン ジクロロメタン 1,3-ブタジエン	容器採取→低温濃縮→GC-MS法 又は 固体捕集→加熱脱着→GC-MS法
	アセトアルデヒド ホルムアルデヒド	固相捕集→溶媒抽出→HPLC法
	水銀及びその化合物	金アマルガム捕集→加熱気化→冷原子吸光法
	ニッケル化合物 ベリウム及びその化合物 クロム及びその化合物	フィルタ捕集→酸分解→ICP-AES法
	ヒ素及びその化合物	フィルタ捕集→酸分解→水素化物発生原子吸光法 又は水素化物発生ICP-AES法
	マンガン及びその化合物	フィルタ捕集→酸分解→原子吸光法 又はICP-AES法
	ベンゾ[a]ピレン	フィルタ捕集→溶媒抽出→HPLC法
	酸化エチレン	固相捕集→溶媒抽出→GC-MS法

（注）GC-MS法：ガスクロマトグラフ質量分析法

HPLC法：高速液体クロマトグラフ法

ICP-AES法：誘導結合プラズマ発光分析法

(2) 環境基準

ベンゼン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン及びジクロロメタンについては、環境基準が表 4 - 2 - 3 のとおり定められている。

表 4 - 2 - 3 環境基準

物 質	環 境 基 準
ベンゼン	年平均値が 0.003mg/m ³ (3 μg/m ³) 以下 (平成 9 年 2 月 4 日環境庁告示)
トリクロロエチレン	年平均値が 0.2mg/m ³ (200 μg/m ³) 以下 "
テトラクロロエチレン	年平均値が 0.2mg/m ³ (200 μg/m ³) 以下 "
ジクロロメタン	年平均値が 0.15mg/m ³ (150 μg/m ³) 以下 (平成 13 年 4 月 20 日環境省告示)

(3) 調査結果

平成 13 年度の調査結果の概要は、次のとおりである。

ア 環境基準が定められている物質

環境基準が定められているベンゼン等 4 物質について、平成 13 年度の調査結果の概要を表 4 - 2 - 4 及び図 4 - 2 - 2 に示す。

平成 13 年度の調査結果を環境基準値と比較すると、次のとおりである。なお、平成 9 年 2 月 12 日付け環大企第 37 号環境庁大気保全局長通知において、ベンゼン等の大気環境濃度の状態を環境基準に照らして評価する場合は、環境基準が 1 年平均値についての条件として定められていることから、同一地点における 1 年平均値と認められる値との比較によって評価を行った。

(ア) ベンゼン

県内 18 地点での年平均値の濃度範囲は 1.4 ~ 3.9 μg/m³ であり、13 地点で環境基準値を下回った。

地域分類別では、一般環境 11 地点での年平均値の濃度範囲は 1.4 ~ 3.0 μg/m³ であり、11 地点すべてで環境基準値を下回った。工業地帯 4 地点での年平均値の濃度範囲は 2.5 ~ 3.9 μg/m³ であり、1 地点で環境基準値を下回った。沿道 3 地点での年平均値の濃度範囲は 2.8 ~ 3.3 μg/m³ であり、1 地点で環境基準値を下回った。

(イ) トリクロロエチレン

県内 18 地点での年平均値の濃度範囲は 0.41 ~ 3.6 μg/m³ であり、すべての地点で環境基準値を下回った。

(ロ) テトラクロロエチレン

県内 18 地点での年平均値の濃度範囲は 0.17 ~ 1.4 μg/m³ であり、すべての地点で環境基準値を下回った。

(ハ) ジクロロメタン

県内 18 地点での年平均値の濃度範囲は 2.2 ~ 13 μg/m³ であり、すべての地点で環境基準値を下回った。

表 4 - 2 - 4 環境基準の定められている物質の調査結果

(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

地域分類	調査対象物質	ベンゼン			トリクロロエチレン			テトラクロロエチレン			ジクロロメタン		
	年度	11	12	13	11	12	13	11	12	13	11	12	13
一般環境	調査地点数	12	11	11	12	11	11	12	11	11	11	11	11
	環境基準値を下回った調査地点数	11	9	11	12	11	11	12	11	11	11	11	11
	平均値	2.0	2.3	2.1	1.1	0.91	1.1	0.51	0.48	0.46	5.0	5.0	4.8
	濃度範囲	1.4 ~ 3.1	0.92 ~ 3.8	1.4 ~ 3.0	0.58 ~ 3.3	0.52 ~ 1.5	0.41 ~ 2.1	0.26 ~ 0.82	0.31 ~ 0.82	0.17 ~ 1.1	1.5 ~ 16	2.3 ~ 8.9	2.2 ~ 13
工業地帯	調査地点数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	環境基準値を下回った調査地点数	2	3	1	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	平均値	2.9	2.9	3.4	2.8	2.3	2.5	2.0	1.0	1.1	6.8	7.0	5.8
	濃度範囲	1.8 ~ 4.1	2.2 ~ 3.8	2.5 ~ 3.9	0.76 ~ 5.6	0.70 ~ 4.0	1.4 ~ 3.6	0.45 ~ 4.5	0.61 ~ 1.4	0.90 ~ 1.4	1.6 ~ 16	2.1 ~ 17	4.0 ~ 7.7
沿道	調査地点数	2	3	3	2	3	3	2	3	3	2	3	3
	環境基準値を下回った調査地点数	1	2	1	2	3	3	2	3	3	2	3	3
	平均値	3.1	3.0	3.1	1.5	0.90	0.86	0.62	0.52	0.45	4.3	5.0	4.7
	濃度範囲	2.8 ~ 3.4	2.8 ~ 3.4	2.8 ~ 3.3	0.56 ~ 2.4	0.61 ~ 1.4	0.50 ~ 1.1	0.37 ~ 0.87	0.37 ~ 0.70	0.39 ~ 0.50	2.0 ~ 6.5	3.1 ~ 6.1	4.1 ~ 5.3
県内全地点	調査地点数	18	18	18	18	18	18	18	18	18	17	18	18
	環境基準値を下回った調査地点数	14	14	13	18	18	18	18	18	18	17	18	18
	平均値	2.3	2.5	2.6	1.5	1.2	1.4	0.85	0.60	0.60	5.3	5.4	5.0
	濃度範囲	1.4 ~ 4.1	0.92 ~ 3.8	1.4 ~ 3.9	0.56 ~ 5.6	0.52 ~ 4.0	0.41 ~ 3.6	0.26 ~ 4.5	0.31 ~ 1.4	0.17 ~ 1.4	1.5 ~ 16	2.1 ~ 17	2.2 ~ 13
環境基準		年平均値が $3\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下			年平均値が $200\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下			年平均値が $200\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下			年平均値が $150\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下		

注1) 調査地点ごとの年平均値の算出は算術平均により、平成11年度については、定量下限値未満の測定値を定量下限値の1/2として算出し、平成12、13年度については、検出下限値未満の測定値を検出下限値の1/2として算出した。

注2) 平均値は、地点ごとの年平均値の平均値を示す。

注3) 濃度範囲は、地点ごとの年平均値の範囲を示す。

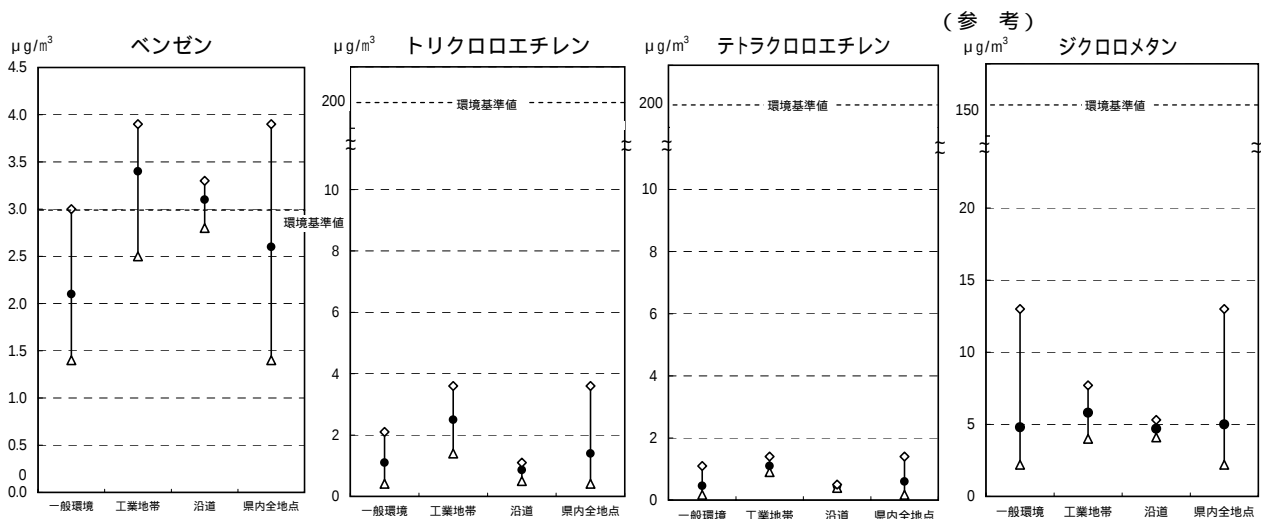


図 4 - 2 - 2 平成13年度における環境基準の定められている物質の調査結果
(● : 平均値 ◇ : 最大値 △ : 最小値)

イ その他の物質

環境基準が定められていないアクリロニトリル等の 15 物質について、平成 13 年度の調査結果の概要を表 4 - 2 - 5 及び図 4 - 2 - 3 に示す。

これらの物質については、参考に全国の地方公共団体及び環境省が平成 13 年度に実施した調査結果を表 4 - 2 - 6 に示す。

表 4 - 2 - 5 その他の物質の調査結果 - (1)
(揮発性有機化合物、アルデヒド類)

(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

調査対象物質	地域分類	調査 地点数	平均値	最小値	最大値
アクリロニトリル	一般環境	11	0.14	0.050	0.33
	工業地帯	4	0.64	0.24	1.2
	沿道	3	0.18	0.11	0.22
	県内全地点	18	0.26	0.050	1.2
塩化ビニルモノマー	一般環境	11	0.043	0.015	0.11
	工業地帯	4	0.090	0.065	0.13
	沿道	3	0.034	0.029	0.038
	県内全地点	18	0.052	0.015	0.13
クロロホルム	一般環境	11	0.29	0.13	0.48
	工業地帯	4	0.42	0.32	0.50
	沿道	3	0.37	0.26	0.59
	県内全地点	18	0.33	0.13	0.59
1,2-ジクロロエタン	一般環境	11	0.14	0.059	0.35
	工業地帯	4	0.19	0.11	0.37
	沿道	3	0.095	0.081	0.12
	県内全地点	18	0.15	0.059	0.37
1,3-ブタジエン	一般環境	11	0.25	0.15	0.35
	工業地帯	4	0.38	0.32	0.47
	沿道	3	0.53	0.38	0.73
	県内全地点	18	0.33	0.15	0.73
アセトアルデヒド	一般環境	9	3.6	1.7	6.3
	工業地帯	3	4.0	3.5	5.0
	沿道	3	5.0	4.1	6.8
	県内全地点	15	3.9	1.7	6.8
ホルムアルデヒド	一般環境	9	4.3	2.4	6.2
	工業地帯	3	6.5	5.7	7.2
	沿道	3	6.7	5.3	8.3
	県内全地点	15	5.2	2.4	8.3

(注) 1 平均値は、地点ごとの年平均値の平均値を示す。

2 最小値、最大値は、地点ごとの年平均値のうち、それぞれ最小、最大の値を示す。

表4 - 2 - 5 その他の物質の調査結果 - (2)
(重金属類、多環芳香族炭化水素、その他)

(単位: ng/m³ [酸化エチレンはμg/m³])

調査対象物質	地域分類	調査地点数	平均値	最小値	最大値
ニッケル化合物	一般環境	9	5.5	3.4	6.8
	工業地帯	3	19	14	27
	沿道	1	5.0	5.0	5.0
	県内全地点	13	8.5	3.4	27
ヒ素及びその化合物	一般環境	9	1.4	0.87	1.8
	工業地帯	3	2.2	2.0	2.4
	沿道	1	2.0	2.0	2.0
	県内全地点	13	1.6	0.87	2.4
クロム及びその化合物	一般環境	9	8.2	4.6	12
	工業地帯	3	35	18	47
	沿道	1	8.1	8.1	8.1
	県内全地点	13	14	4.6	47
ベリリウム及びその化合物	一般環境	9	0.032	0.019	0.060
	工業地帯	3	0.042	0.036	0.047
	沿道	1	0.039	0.039	0.039
	県内全地点	13	0.035	0.019	0.060
マンガン及びその化合物	一般環境	9	33	19	58
	工業地帯	3	83	67	100
	沿道	1	37	37	37
	県内全地点	13	45	19	100
水銀及びその化合物	一般環境	9	2.1	1.8	2.4
	工業地帯	3	2.6	2.4	2.9
	沿道	1	1.7	1.7	1.7
	県内全地点	13	2.2	1.7	2.9
ベンゾ(a)ピレン (多環芳香族炭化水素)	一般環境	9	0.56	0.23	1.6
	工業地帯	4	1.4	0.78	2.2
	沿道	3	0.73	0.40	1.2
	県内全地点	16	0.81	0.23	2.2
酸化エチレン	一般環境	9	0.073	0.039	0.12
	工業地帯	4	0.24	0.11	0.55
	沿道	2	0.10	0.098	0.11
	県内全地点	15	0.12	0.039	0.55

(注) 1 平均値は、地点ごとの年平均値の平均値を示す。

2 最小値、最大値は、地点ごとの年平均値のうちで、それぞれ最小、最大の値を示す。

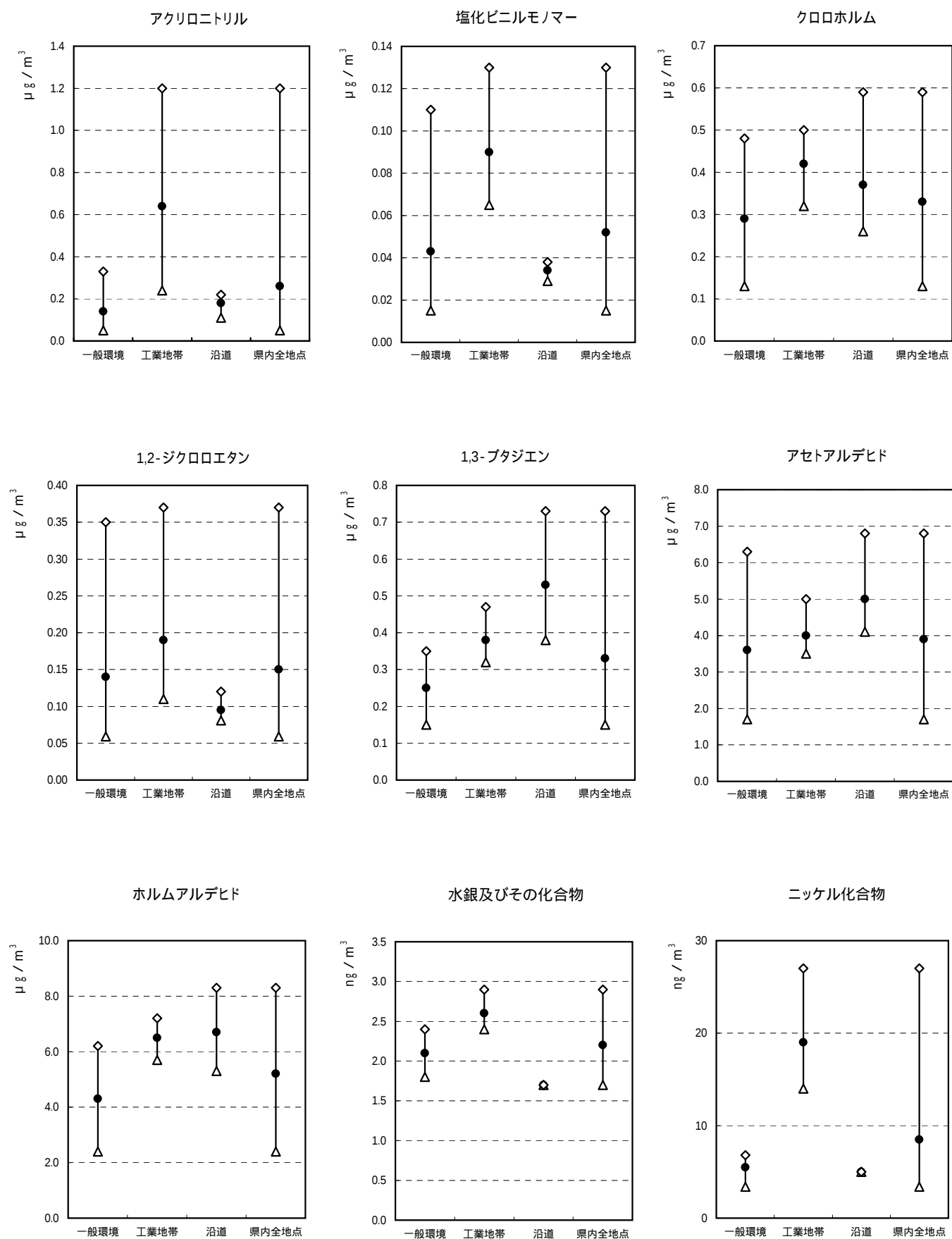


図 4 - 2 - 3 その他の有害大気汚染物質の大気環境濃度-(1)
(● : 平均値 ◇ : 最大値 △ : 最小値)

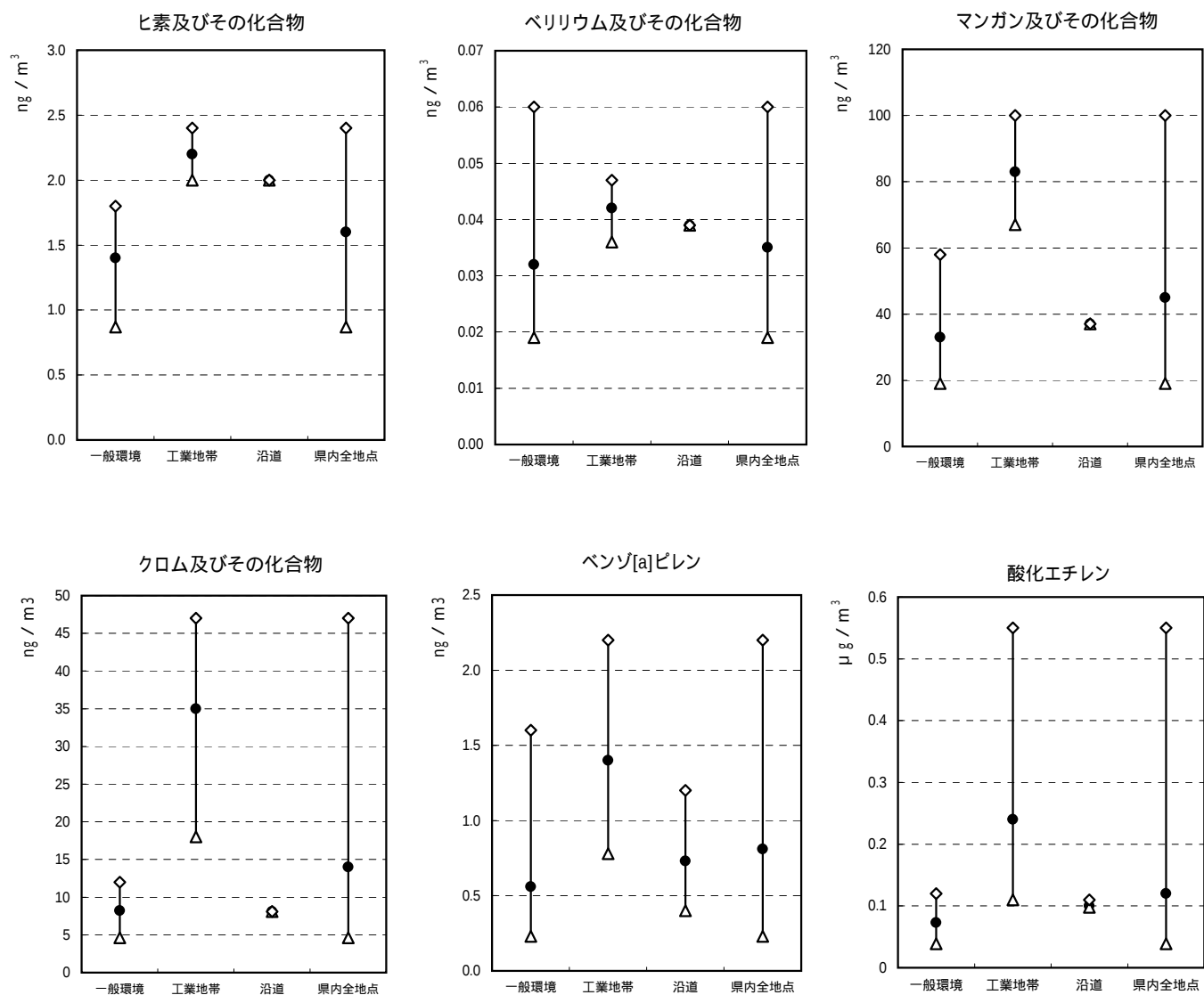


図4 - 2 - 3 その他の有害大気汚染物質の大気環境濃度-(2)
 (● : 平均値 ◇ : 最大値 △ : 最小値)

表 4 - 2 - 6 平成13年度全国地方公共団体等の有害大気汚染物質モニタリング結果

(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

調査対象物質	地域分類	調査 地点数	検体数	平均値	最小値	最大値
ベンゼン	一般環境	251	2,821	1.8	0.42	4.3
	固定発生源周辺	82	920	2.3	0.52	9.4
	沿道	105	1,232	2.8	1.0	5.6
	全地点	438	4,973	2.2	0.42	9.4
トリクロロエチレン	一般環境	259	2,815	1.0	0.0090	9.5
	固定発生源周辺	82	916	2.0	0.024	26
	沿道	62	712	0.91	0.0090	4.8
	全地点	403	4,443	1.2	0.0090	26
テトラクロロエチレン	一般環境	254	2,826	0.49	0.026	4.4
	固定発生源周辺	81	904	0.54	0.057	3.3
	沿道	62	711	0.48	0.044	2.4
	全地点	397	4,441	0.50	0.026	4.4
ジクロロメタン	一般環境	246	2,653	2.7	0.17	20
	固定発生源周辺	80	859	3.4	0.29	14
	沿道	58	649	2.6	0.25	13
	全地点	384	4,161	2.8	0.17	20
アクリロニトリル	全地点	359	3,840	0.14	0.00015	1.6
塩化ビニルモノマー	全地点	360	3,869	0.11	0.0025	7.0
クロロホルム	全地点	350	3,779	0.29	0.0060	3.1
1,2-ジクロロエタン	全地点	349	3,739	0.14	0.0055	1.9
1,3-ブタジエン	全地点	378	4,087	0.33	0.0055	3.3
アセトアルデヒド	全地点	333	3,550	2.7	0.15	6.9
ホルムアルデヒド	全地点	334	3,560	3.6	0.26	10
酸化エチレン	全地点	229	2,394	0.11	0.014	0.68

(単位: ng/m^3)

調査対象物質	地域分類	調査 地点数	検体数	平均値	最小値	最大値
水銀及びその化合物	全地点	281	3,056	2.3	0.22	6.0
ニッケル化合物	全地点	275	2,994	6.2	0.15	44
ヒ素及びその化合物	全地点	289	3,147	1.8	0.12	20
ベリリウム及びその化合物	全地点	266	2,903	0.053	0.00039	0.66
マンガン及びその化合物	全地点	281	3,034	34	0.90	240
クロム及びその化合物	全地点	273	2,976	7.2	0.086	100
ベンゾ[a]ピレン	全地点	306	3,314	0.44	0.013	2.8

(注) 1 *は年平均値の算出結果が検出下限値未満であったことを示す。

2 出典: 環境省公表資料(平成14年10月)

(参考)

有 害 大 気 汚 染 物 質 一 覧

区 分			定 義	物 質 名
有 害 大 気 汚 染 物 質 (233)	優 先 取 組 物 質 (3)	指定 物質 (3)	人の健康に係る被害を防止するためその排出又は飛散を早急に抑制しなければならないもの (附則第 9 項)	* テトラクロロエチレン
				* トリクロロエチレン
				* ベンゼン
	(21)		有害性の程度が我が国の大気環境の状況等に照らして健康リスクがある程度高いと考えられるもの	* アクリロニトリル
				* アセトアルデヒド
				* 塩化ビニルモノマー
				* クロロホルム
				クロロメチルメチルエーテル
				* 酸化エチレン
				* 1,2-ジクロロエタン
				* ジクロロメタン
				* 水銀及びその化合物
				タルク
				* ニッケル化合物
				* ヒ素及びその化合物
				* 1,3-ブタジエン
				* ベリリウム及びその化合物
				* ベンゾ[a]ピレン
				* ホルムアルデヒド
				* マンガン及びその化合物
				* 六価クロム化合物
			継続的に摂取される場合には人の健康を損なうおそれがある物質で大気汚染の原因となるもの (法第 2 条第 9 項)	亜鉛及びその化合物
				エチレン
				四塩化炭素
				トルエン
				フェノール
				P C B
				ロックウール等

注：* 印の 19 物質は、本県のモニタリング対象物質を示す。なお、ダイオキシン類は、大気汚染防止法施行令の改正（平成 11 年 12 月公布）により、平成 13 年 1 月 15 日から指定物質から除外された。
当面、六価クロム化合物はクロム化合物とする。

資 料 編

		(単位：μg/m ³)								(単位：ng/m ³)				
地域 分類	調査機関	調査地点	アセトアルデヒド				ホルムアルデヒド				ベンゾ(a)ピレン			
			検体数	年平均値	最小値	最大値	検体数	年平均値	最小値	最大値	検体数	年平均値	最小値	最大値
一般 環境	愛知県	豊川市役所	4	4.6	1.6	9.0	4	4.2	2.1	8.6	4	0.36	0.18	0.78
		小牧高校	4	4.8	3.2	6.5	4	5.6	3.8	7.7	4	1.0	0.32	2.1
		安城農林高校	4	6.3	3.6	12	4	6.2	3.8	12	4	1.6	0.24	2.6
	名古屋市	富田支所	12	2.8	1.4	5.0	12	4.6	2.3	9.4	12	0.61	0.13	2.0
	豊橋市	豊橋市役所	12	2.4	0.88	4.5	12	3.8	1.3	8.8	12	0.27	0.013	0.63
		大崎	12	1.7	0.40	3.1	12	2.4	0.21	5.6	12	0.30	0.013	0.93
	豊田市	豊田市北部	12	2.7	1.2	5.3	12	3.5	1.5	9.1	12	0.23	0.0029	0.60
		衣丘小学校	12	3.2	1.2	8.0	12	4.0	1.4	9.4	12	0.32	0.0039	1.0
		豊田市南部給食センター	12	3.5	0.92	13	12	4.1	1.4	12	12	0.32	0.0073	1.0
	一般環境調査結果平均			-	3.6	-	-	-	4.3	-	-	-	0.56	-
工業 地帯	愛知県	東海市名和町	4	5.0	3.2	8.4	4	6.5	4.2	12	4	1.7	0.45	2.6
		半田市青年の家									4	2.2	0.38	3.2
	名古屋市	港陽	12	3.5	1.8	6.5	12	5.7	2.8	10	12	1.1	0.15	2.3
		白水小学校	12	3.6	1.9	7.8	12	7.2	3.1	16	12	0.78	0.14	1.8
工業地帯調査結果平均			-	4.0	-	-	-	6.5	-	-	-	1.4	-	-
沿 道	愛知県	岡崎市大平町	4	6.8	3.8	14	4	8.3	5.3	15	4	1.2	0.71	2.1
	名古屋市	上下水道局北営業所	12	4.1	2.0	7.0	12	6.4	3.7	13	12	0.58	0.12	1.2
	豊田市	豊田市福祉センター	12	4.1	1.8	8.9	12	5.3	2.2	9.5	12	0.40	0.0080	1.4
沿道調査結果平均			-	5.0	-	-	-	6.7	-	-	-	0.73	-	-

(単位：μg/m ³)						
地域 分類	調査機関	調査地点	酸化エチレン			
			検体数	年平均値	最小値	最大値
一般 環境	愛知県	豊川市役所	4	0.094	0.064	0.15
		小牧高校	4	0.090	0.065	0.14
		安城農林高校	4	0.12	0.088	0.16
	名古屋市	富田支所	12	0.094	<0.022	0.24
	豊橋市	豊橋市役所	12	0.040	<0.0030	0.096
		大崎	12	0.039	<0.0030	0.10
	豊田市	豊田市北部	12	0.052	<0.0004	0.11
		衣丘小学校	12	0.052	<0.0004	0.12
		豊田市南部給食センター	12	0.074	<0.0004	0.25
	一般環境調査結果平均			-	0.073	-
工業地帯	愛知県	東海市名和町	4	0.55	0.088	1.4
		半田市青年の家	4	0.17	0.10	0.29
	名古屋市	港陽	12	0.11	0.043	0.24
		白水小学校	12	0.12	0.050	0.21
工業地帯調査結果平均			-	0.24	-	-
沿道	名古屋市	上下水道局北営業所	12	0.11	0.046	0.21
	豊田市	豊田市福祉センター	12	0.098	<0.0004	0.31
沿道調査結果平均			-	0.10	-	-

(単位: ng/m³)

地域 分類		調査機関	調査地点	ニッケル化合物				ヒ素及びその化合物				クロム及びその化合物			
				検体数	年平均値	最小値	最大値	検体数	年平均値	最小値	最大値	検体数	年平均値	最小値	最大値
一般 環境	愛知県	豊川市役所	4	4.1	2.5	5.8	4	0.87	0.38	1.7	4	7.2	3.4	12	
		小牧高校	4	6.5	4.3	12	4	1.6	0.91	2.3	4	11	4.8	27	
		安城農林高校	4	6.7	2.6	9.5	4	1.6	0.92	2.6	4	12	3.0	21	
	名古屋市	富田支所	12	6.6	2.9	12	12	1.8	0.43	3.7	12	7.0	1.9	15	
	豊橋市	豊橋市役所	12	4.3	1.0	8.8	12	0.88	0.055	2.9	12	5.7	2.8	12	
		大崎	12	6.7	2.4	13	12	0.91	0.27	1.6	12	11	3.6	17	
	豊田市	豊田市北部	12	3.4	1.3	5.5	12	1.7	0.65	3.7	12	4.6	<0.50	16	
		衣丘小学校	12	4.0	<0.80	8.2	12	1.6	0.085	3.1	12	6.1	2.3	18	
		豊田市南部給食センター	12	6.8	1.2	21	12	1.5	0.11	3.6	12	9.1	1.3	19	
一般環境調査結果平均			-	5.5	-	-	-	1.4	-	-	-	8.2	-	-	
工業 地帯	愛知県	東海市名和町	4	16	7.1	28	4	2.4	1.3	4.2	4	39	14	69	
		港陽	12	14	5.0	51	12	2.3	1.0	4.3	12	18	3.7	44	
	名古屋市	白水小学校	12	27	13	76	12	2.0	0.79	3.4	12	47	25	130	
工業地帯調査結果平均			-	19	-	-	-	2.2	-	-	-	35	-	-	
沿道	豊田市	豊田市福祉センター	12	5.0	1.9	9.1	12	2.0	0.48	5.0	12	8.1	2.7	15	

(単位: ng/m³)

(単位: ng/m)														
地域 分類	調査機関	調査地点	ベリリウム及びその化合物				マンガン及びその化合物				水銀及びその化合物			
			検体数	年平均値	最小値	最大値	検体数	年平均値	最小値	最大値	検体数	年平均値	最小値	最大値
一般 環境	愛知県	豊川市役所	4	0.019	0.010	0.032	4	34	14	64	4	1.9	1.6	2.1
		小牧高校	4	0.023	0.013	0.047	4	30	25	36	4	2.4	2.1	2.9
		安城農林高校	4	0.027	0.0040	0.054	4	46	13	65	4	2.3	2.0	2.6
	名古屋市	富田支所	12	0.034	<0.0075	0.12	12	33	10	64	12	2.0	1.2	2.3
	豊橋市	豊橋市役所	12	0.060	<0.064	<0.18	12	23	12	42	12	2.0	1.5	2.7
		大崎	12	0.060	<0.064	<0.18	12	58	13	101	12	2.2	1.3	3.0
	豊田市	豊田市北部	12	0.022	0.0060	0.054	12	19	6.4	57	12	1.9	1.5	2.6
		衣丘小学校	12	0.020	0.0060	0.054	12	26	7.4	58	12	1.8	0.71	2.4
		豊田市南部給食センター	12	0.024	0.010	0.089	12	32	8.0	72	12	2.1	1.3	2.9
	一般環境調査結果平均			-	0.032	-	-	-	33	-	-	-	2.1	-
工業 地帯	愛知県	東海市名和町	4	0.036	0.011	0.080	4	100	38	170	4	2.6	2.2	2.8
	名古屋市	港陽	12	0.047	<0.0075	0.14	12	67	21	170	12	2.4	1.9	3.0
		白水小学校	12	0.043	<0.0075	0.12	12	81	34	140	12	2.9	2.6	3.3
工業地帯調査結果平均			-	0.042	-	-	-	83	-	-	-	2.6	-	-
沿道	豊田市	豊田市福祉センター	12	0.039	0.027	0.087	12	37	16	69	12	1.7	0.82	2.7